

human

No.228

2011/4

医療を通じて人と人のふれあいを広めるために
ヒューマン(人)と名付けました。



「有料老人ホーム「太郎と花子」:女神ニケの像」

救急指定・労災指定病院	さくら総合病院	愛知県丹羽郡大口町新宮1-129 (0587)95-6711 (代)
老人保健施設	さくら荘	愛知県丹羽郡大口町新宮1-96 (0587)95-6722
訪問看護ステーション	あすかピレッジ	愛知県丹羽郡大口町新宮10(太郎と花子内) (0587)95-8623
ヘルプステーション	あすかピレッジ	愛知県丹羽郡大口町新宮10(太郎と花子内) (0587)95-8026
居宅介護支援事業所	あすかピレッジ	愛知県丹羽郡大口町新宮10(太郎と花子内) (0587)95-8027
デイケアセンター	御 嶽	愛知県丹羽郡大口町新宮1-129(さくら総合病院内) (080)5294-5728
有料老人ホーム	太郎と花子	愛知県丹羽郡大口町新宮1-10 (0587)95-0111



<http://www.ijinkai.or.jp>

E-mail: info@ijinkai.or.jp

医者と車

院長 小林勝正

戦後間もない時期に街中で車を見るのは稀であった。今の中国の内陸部のように自転車があればまだ良いほうであった。その頃の父は、原動機付き自転車にまたがり往診に行ったものだ。夏場には越中ふんどしに白衣をひっかけこの自転車で往診に行ったという。父親の話であるが、往診先でふんどしが外れ、白衣の後ろからふんどしが垂れ下がり、タヌキのシッポのようになっちゃった。出先で直すことができず困ったということである。

代である。名草線を通ってリアカーに病人を乗せて名古屋に受診に行ったという話があるくらいだ。原付自転車から父の乗り物は自動車に進歩していった。当時、トヨタ、日産などの車は乏しく、それより後の時代に出現した。オースチンとかヒルマンミンクスなどのイギリス車が主たる乗り物であった。非常によく故障し、親父に乗せてもらうてドライブに行ったが、出先のエンストで兄とよく車を押したものだ。当時は名古屋市内の交通機関は市電しかなく、その軌道敷を面白がって走ったものである。同じ時期に、内科の先生でイタリアのフィアットに乗り、往診をしていた有名な先生がある。往診先でタイヤがパンクしたために家に連絡をし、息子に「スペアタイヤを持って来い」と指示した。その息子はスペアタイヤを片手にバイクにまたがり現場までずっ飛ばしたそうだ。交差点

で馬車に出会い、タイヤを抱えたまま馬の股の下をかいくぐったと思ったらそこで転倒し、本人は失神してしまった。タイヤはどこかへ飛んで行ってしまってもう見つけられないという。その息子さんは後に名古屋市立大学放射線科助教となり、さらに愛知医科大学放射線科教授になられた方である。名古屋広しと言えども医者は少なく南区の近藤「三人の息子」さんは東樹会病院院長、星ヶ丘マタニティ院長、副院長、中区の野口「二人の息子」は元・愛知医科大学産婦人科教授、現・藤田保健衛生大学救急医学教授、「西の米田」二人の息子は現・米田病院院長、現・米田柔整専門学校校長、「西の宮田」二人の息子は元・愛知医科大学放射線科教授、現・名古屋第一赤十字病院副院長「などと、非常に少ない医療機関で医療が行われていた。そして、それぞれの息子がその後の医療を

担った。親同士が非常に仲良く、息子同士の面識は無くても学歴や何科の医師になったなど情報は全てわかっていた。北の藤本と言われた藤本病院の院長は格調高い黒塗りのシトロエンに乗り、悦に入ってみえたものだ。こうした人たちは日曜日でも救急患者があれば往診したり、自分の医療機関で手術をするため、足としての車は必須であったのである。それとともに生活の道具として車を愛し、父が乗っていたような出先でエンストするような車ではなかった。安定した運転ができる車を望んだ。その究極の形がメルセデスベンツである。当時のメルセデスベンツは全く故障がなく、しかも頑丈であった。当時の巨大アメリカ車も頑丈で、その走りっぷりとパワーは大したものであった。バンパーは建物のH鋼と同じ強度を持っていた。ピュイックやフォードの中古車をどこ

からか手に入れてきた親父は、その加速力の良さから非常に気に入って運転していた。今考えるとスカイブルーのフォードであったりサモンピンクのビュイックでいかにも派手な車であったが、車の少ない時代であり臆面も無くその派手な車に乗っていた。私が高校生時代に、夜、急患があり、父親を探しに自転車花街へ走っていったが、このサモンピンクのビュイックを見つけて、夜の医師会(？)がどの店で行われているかすぐさまわかった。

そんな父が黒塗りの中古ベンツを手に入れたのは私が医学部に進学してからのことである。当時のベンツは90kgの体重の父がボンネットに乗ってもボンネットが凹まないほど頑丈で、車の屋根に乗って洗車している親父は印象的であった。そんな父でも最終目的の「新車のベンツに乗りた

ない」という夢は叶えられなかった。その後、20年して私は憧れのジャガーの中古のスポーツカーを手に入れたことがある。昔、御園座の長谷川さんと亀末廣の吉田さんが二人でイギリスに行き、長谷川さんはセダン、吉田さんはスポーツタイプのジャガーを一台ずつ買って帰ってきたという逸話がある。その曰く因縁のジャガーのスポーツカーである。このジャガーは吉田さんが手放してから一度金沢に行き、ある銀行の頭取が乗っていたものであった。暖房はついていないものの、クーラーのついていない直列6気筒のこのスポーツカーは、夏には到底乗れる代物ではなかった。シートはカビ臭く、その古さが耐えられない為に、当時の渡辺自動車社の社長に「シートを取り替えられないかな」と相談を持ちかけたが、曰く因縁のある純正のシートだから替えないほうが良いのでは

ないかと諭され、カビ臭い車を日曜日に転がしていたものである。そんな時、例の北の藤本先生は一点の曇りもない完全に磨き上げた黒塗りのシトロエンで渡辺自動車に現れる。ナンバープレートは「愛」というプレートから言っても、いかにもプライドの高い車である。たまの日曜日に自動車屋で車談議に花を咲かしているポケットベルが鳴ると「お前か？俺か？」ということでお互いが緊急連絡に縛られての趣味の時間であった。

このように医師は仕事に縛れているために、常に手元に置いておく車は趣味でもあり、道具として必須条件である。私は多くの自動車事故の患者さんから、どんな車に乗っていてこんな怪我になったのか常にヒアリングをしてきた。そしてどんな車が安全かを追求してきたものである。もう20年以上前の話であるが、名古屋に大島病院という病院があった。300床以上の大きな病院で、大島種太郎氏が院長であった。ところがある年の一月二日、大島先生は交通事故に遭い、脳挫傷で翌日に亡くなられた。この事故に遭う前年に、日本で始めて日本医師会の理事に病院長としてなられた方である。大島先生を知る人は、なぜベンツに乗っていた大島先生がそんな怪我をされたのか疑問に思った。たまたま正月であり、息子さんの国産車の車の助手席に乗ってみえたそうだった。そして、暴走した車が助手席側に突っ込んだのである。この事件の二年後、大島病院は閉院となった。私はこの教訓から同級生や他の医師に「車は贅沢しても自分の体を守ることでできる、なるべく大きなものに乗ったほうが良い」とアドバイスする。

最近二人乗りのフェラーリと大型トラックの高速道

路での事故が発生した。大型トラックは横転し、ケガ人が発生した。二人乗りのスポーツカーのフェラーリは車の損傷だけであったという。このイタリアのフェラーリは長年のグランプリレースの経験から徹底的に車の安全性を追求したものであるという。フェラーリの販売員は「日本国内でフェラーリの死亡事故はありません」と豪語する。しかし、この年にもなってフェラーリもあるまい。ただ親父の時代から医者との関係は切っても切れない間柄であり、また常に仕事で拘束されている医者にとつて唯一運転している時間が無心の時間であるということがよくよくわかる年代になつてきた。決して贅沢の極みを追求しているのではなく、自分の心のゆとりを作る道具と捉えたほうが良いだろう。そのため、自分の車を手にするようになってからは隅々まで磨き上

げ、毎日曜日が洗車日であった。後部座席に乗せた息子がガラス窓に触ろうものなら「手アカが付く！」と言つて怒られたものだ。中古であるが女房が車を使用するようになり、子供も当然気楽なそちらの車に移つていった。子供を乗せ、忙しさもあり女房の車の中はゴミ箱のようであった。私が「車を掃除したらどうだ」と叱責しても「新車を買つてもらつたら掃除し、洗車もする」と言つていた。やつとフォルクスワーゲンゴルフの新車を女房に与える余裕ができた。納車3ヵ月後にはやはりゴミ箱になつていた。女房の車がゴミ箱でなくなつたのは、子供たちが自分たちの車を持つようになつてからである。今はきれいである。私の車は内外共に一人乗りで今もピカピカである。そして気分転換を通勤時間に楽しんでる。このぐらいの贅沢は許されても良いのでは。

健康管理教室から 4 月のお知らせ

テーマ：「検査データが教えてくれるあなたの健康」～心筋梗塞編～
&セラバンドを使用した体操

日時：平成23年4月23日(土) 13:00～14:00(受付12:30～)

場所：新館1F

講師：診療放射線技師 吉田

臨床検査技師 天野

理学療法士 磯村

参加料：無料

お問い合わせ：受付窓口もしくは医療連携室

Tel 0587-95-0015



☆ 検査データからわかるあなたの健康を専門技師から分かりやすくご説明します。
この機会に、お気軽にご参加ください。

※健康を守る教室の体操コーナーでおなじみのセラバンドを健康教室終了後に下記価格で販売いたします
ご希望の方はお申し出ください 黄色(弱)400円 緑色(中)460円 青色(強)520円

整形外科 部長 岩山立樹

時がたつのは早いもので、さくら総合病院に赴任して、もう8年目になりました。昭和63年に帝京大学医学部を卒業し、豊田市の加茂病院で1年間、その後、蒲郡市民病院で3年、名古屋に帰り中部労災病院で12年勤務し、現在に至ります。

長く勤めた中部労災病院ではとりわけ思い出も多く、不慣れな学会発表や論文投稿に戸惑いながらも、忙しい日々を過ごしておりました。しかし、絶対に無理とあきらめていた大好きなバイクでの北海道ツーリングも幾度となく実現できました。あの阪神大震災が起きたのも、この中部労災病院時代でした。

地震や火災により多くの人々が被災にあわれ、尊い命が奪われました。近隣病院からも医療活動支援のため、多くの医師・看護師が現地へ駆けつけました。当時勤めていた中部労災病院でも本部の命令次第で直ちに医療チームを送るという話が伝わりました。自分は命令が下れば率先して、そのチームに参加するつもりでした。自分がいつも使っているオフロードバイクであれば車も入り込めない地域へもたどり着ける自信があったからです。『オフロードのバイクレースや北海道の原野を走り回った経験を今こそ活かすぞ!』…しかし、結局命令は下りませんでした。

今でも、その時の使命感と高揚感が時に思い出されることがあり、自然に手に汗がにじむのを感じます。自分が整形外科医を志した源を感じます。小学2年生の子供と2人暮らしの今、あの頃のような行動力は持ち得ませんが、先日発生した東日本大震災において、院長先生は真っ先に現地での医療活動を実施されており、尊敬します。

ここ、さくら総合病院での7年間で未熟であった外傷手術も少しは上達できたと思いますが、常勤医1人体制では限界があります。阪神大震災のときのあの熱い使命感を思い出しつつ、これからもがんばりますので、みなさん、これからもご協力お願いいたします。

さくら荘デイケア業務で感じた事

老人保健施設 さくら荘 ケアスタッフ 松井良夫

私は平成22年5月より、老人保健施設さくら荘のデイケアのケアスタッフとして働いております。

在宅の方や有料老人ホーム太郎と花子に入所されている方で、さくら荘のデイケアを利用されている方が快適に利用できるお手伝いをさせてもらっています。

デイケアを利用される利用者さんとその家族の方が望まれる事は、利用者さんの残存機能の維持・活用・回復を通して、身体的にも精神的にも元気に利用者さんが生活していく事だと思います。

そして、デイケアのケアスタッフの業務を通して感じた事は、利用者さんが自分らしく生活する為に支援していく事の難しさです。利用者さんそれぞれの身体的、精神的状態は千差万別ですし、見守りの必要性の度合いもまた異なります。

また、送迎の場面においては平坦な場所の多い施設とは異なり、足元の障害物や段差、勾配のあるお宅では気を配る部分や注意もより多くなります。

在宅において、認知症の方や病氣や怪我等の後遺症で移動手段に制限がある方を昼夜通して家族の方だけで介護していく事は困難です。また、そのような状況の高齢者の方の生活はどうしても自宅だけとなり、そういった部分でも、デイケアのサービスは外の環境や他者と触れ合う機会を提供するという側面も持っています。今後ともデイケアを利用される方々の生活を支援させていただく為にも、私自身もっと勉強し努力していきたいと思っています。

診療科表

平成23年4月1日現在

	午前 9:00~12:00										午後 5:00~7:30									
	外 科	内 科	整 形 外 科	脳 神 経 外 科	小 児 科 ^{※3}	皮 膚 科	耳 鼻 科	泌 尿 器 科	婦 人 科	眼 科	外 科	内 科	整 形 外 科	脳 神 経 外 科	小 児 科	皮 膚 科	耳 鼻 科	泌 尿 器 科	婦 人 科	眼 科
月	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
火	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○
水	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○
木	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○
金	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	6:00~ 7:30	○	5:30~ 7:30	○	5:30~ 7:30	○
土	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○
日	○	○	○ ^{※1}	○ ^{※2}	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

※1 休診日もございます

※2 第2、第4は11:30までとなります

※3 小児科は、3月9日(木)より休診とさせていただきます

- 診療時間に関しては受診されます診療科目により異なります
- ご不明な点がございましたら5職員に確認して下さい
- 診療日が変更になる場合があります。ご了承下さい

機関紙 発行 医療法人 医仁会 電話 0587(95)6711(代)

human ヒューマン さくら総合病院 発行年月日 2011年4月1日

No.228 丹羽郡大町南宮1-129 発行部数 250部